



文責 本宮小学校長 佐久間仁

修了式



本日、修了式を行いました。式では、修了者三百五十七名を代表して五年生に修了証書を手渡ししました。式では、三学期を振り返り、次のような話をしました。

「三学期の学習・生活面においては、苦手なこと、不得意なこと克服できるよう努力を重ねてきました。特に、学習面では、学力テストや漢字検定を目指して、国語や算数の問題に粘り強く取り組み、学んだことを使って、自ら考える力を身に付けました。体力面では、なわとび記録会に向けて、様々な種目に挑戦し、記録を伸ばすことができました。三年生以上はスキー教室に参加し、スキーの技能を高めました。体を動かす楽しさ、できないことができる喜びを感じることができました。」

四十九日間、皆さんが、元気に学校に通うことができたのは、皆さんの頑張り、家族の皆さんの励ましや地域の皆さんの見守りがあったおかげです。自分を支えてくださる方への感謝の気持ちを忘れずに、今後も健康に気を付けて元気に生活してください。」

本日、修了証書とともに、通知票を渡しました。子どもたちが夢と希望をもって次の学年に進むことができるよう、これまでの頑張りをほめ励ましてください。保護者の皆様の温かいご支援ご協力に感謝いたします。

明日は卒業式



放課後、五年生と職員で、

卒業式の会場準備を行いました。各担当ごとに協力しながらいす・テーブルを並べたり、花を運んだり、掃除をしたりしました。一時間ほどの作業で、会場は見違えるようにきれいになりました。五年生の働きぶりに、次年度最上級生になる自覚と意気込みを感じました。明後日の卒業式でも、六年生に安心して卒業してもらえよう、立派な態度で式に臨んでくれることと思います。頼もしい新リーダーに期待しています。

【六年生の作文】

◇私は、お母さんやお父さん、一年生から五年生のみんな、先生方に今までの感謝が伝わるような卒業式にしたいです。

今までの感謝が伝わるようにするために、特に「別れの言葉」「卒業証書じゅよ」「親への花束そうてい」「歌」をがんばります。

別れの言葉では、一言一言に強い思いをこめて大きな声でハキハキと話すことをがんばりたいです。卒業証書じゅよでは、今までの感謝の気持ちをこめて、きちんと先生の目を見て、卒業証書を受け取りたいです。

親への花束そうていのは、今、ここまで育ててくれてありがとう。今、卒業証書をもらったよ。という思いで、花束を親にわたしたいです。

歌では、今までの練習の成果を発きして、体育館にいるみんなの心にひびくような美しい声で歌いたいです。
(長沼 夢)

◇ぼくは、卒業式は親に成長を見てもらえる式にしたいです。

まず入場のときは、礼をしてから番号順と反対に並んで入場するので、まちがえないようにしたいです。

次は姿勢です。卒業式は約一時

間半、そのうち別れの言葉などをのぞいても、約一時間の間、背筋を伸ばして座っているのは、とてもつかるけれど、がんばりたいです。

そして声の大きさです。別れの言葉のときは、間を空け、ハッキリと言えるようにしないとイケないです。歌は、「校歌」と「君が代」と「旅立ちの日」を歌います。特に「旅立ちの日」はアルトなので、つられないように歌いたいと思います。

最後に卒業証書授与のときは、姿勢、歩き方、人との間かく、返事とすぐ大変ですが、何よりも大事な卒業証書の授与なのでがんばりたいです。

卒業式には、ちゃんと親に成長を見てもらえるようにしたいです。

(遠藤陽太)



栄光を讀えて

〔「チャレンジ学習」各部門最上位者〕

〔漢字検定小学生の部〕

五年 渡邊蒼汰 三級 百七十三点

〔英語検定小学生の部〕

六年 富塚絢翔 四級 七百三十九点